



平成26年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月7日

上場会社名 巴工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6309 URL <http://www.tomo-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塩野 昇

問合せ先責任者 (役職名) 経理担当取締役

(氏名) 松本 光央

TEL 03-5435-6512

四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第1四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第1四半期	9,106	7.2	119	11.1	284	67.6	263	207.3
25年10月期第1四半期	8,498	△11.1	107	△68.4	169	△55.7	85	△75.0

(注) 包括利益 26年10月期第1四半期 441百万円 (27.0%) 25年10月期第1四半期 347百万円 (△9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第1四半期	26.41	—
25年10月期第1四半期	8.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第1四半期	32,786	23,485	71.2
25年10月期	33,477	23,575	69.8

(参考) 自己資本 26年10月期第1四半期 23,331百万円 25年10月期 23,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	45.00	45.00
26年10月期	—	—	—	—	—
26年10月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	6.9	1,050	5.2	1,160	7.8	690	9.2	69.15
通期	41,300	8.2	1,930	27.3	2,050	22.0	1,200	42.7	120.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年10月期1Q	10,533,200 株	25年10月期	10,533,200 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年10月期1Q	554,592 株	25年10月期	554,592 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年10月期1Q	9,978,608 株	25年10月期1Q	9,978,625 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。尚、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

尚、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) セグメント情報.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
4. (補足情報) 海外売上高.....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

【全体業績】

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済・金融政策などを背景に、企業業績の改善や個人消費の持ち直しなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国における金融緩和政策の一部縮小や中国をはじめとする新興国経済の鈍化に加え、わが国における消費税増税による一時的な需要の減速懸念等、景気の下振れリスクが内在しており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、機械製造販売事業におきましては、国内官需向け部品・修理の販売は増加したものの、国内民需向け機械および部品・修理の販売が減少しました。化学工業製品販売事業におきましては、国内合成樹脂分野の販売は低調でありましたが、同化成品分野、機能材料分野、工業材料分野のほか、香港における高機能樹脂等の販売が堅調に推移しました。利益面につきましては、機械製造販売事業では減益となった一方で、化学工業製品販売事業では増収を主因として増益となりました。また、非連結子会社からの配当収入や深圳コンパウンド事業に係る少数株主持分の取得による特別利益の計上がありました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比7.2%増の9,106百万円、営業利益は前年同期比11.1%増の119百万円、経常利益は前年同期比67.6%増の284百万円、四半期純利益は前年同期比207.3%増の263百万円となりました。

【セグメント別業績】

(機械製造販売事業)

機械製造販売事業では、国内官需向け部品・修理や北米を除く海外向け機械の売上が堅調に推移した一方で、国内民需向け機械および部品・修理の売上が減少したことから、当四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ0.4%減少し1,544百万円となりました。

利益面につきましては、事業全体の売上が減少したことや海外向け機械および部品・修理の売上において前年同期に比べ収益性の低い案件が計上されたことなどから、前年同期に比べ122.2%減少し137百万円の営業損失となりました。

(化学工業製品販売事業)

化学工業製品販売事業では、合成樹脂分野の輸入材を含む汎用樹脂の売上が減少した一方で、化成品分野の紫外線硬化樹脂、機能材料分野の半導体製造用途向けセラミックス、工業材料分野の住宅・建設用途向け材料のほか、香港における高機能樹脂等の売上が堅調に推移したことから、当四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ8.8%増加し7,561百万円となりました。

利益面につきましては、機能材料分野の比較的利益率の高い商材や香港における高機能樹脂等の売上が伸びたことにより、営業利益は前年同期に比べ51.7%増加し257百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

【資産、負債及び純資産の状況】

当第1四半期連結会計期間末の資産は、賞与の支給、配当金の支払いなどによって現金及び預金が1,570百万円減少したことのほか、売上債権が316百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ691百万円(2.1%)減少し32,786百万円となりました。

負債は、支払債務が328百万円減少し、賞与引当金が375百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ601百万円(6.1%)減少し9,300百万円となりました。

純資産は、四半期純利益が263百万円となり、配当金の支払い449百万円などにより利益剰余金が185百万円減少したことのほか、為替換算調整勘定が133百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ90百万円(0.4%)減少し23,485百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇して71.2%となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、すべての活動において支出となり、前連結会計年度末に比べて3,970百万円減少して3,201百万円となりました。ここに至る当第1四半期連結累計期間中のキャッシュ・フローの状況とその変動要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が343百万円となり、売上債権が376百万円減少した一方で、棚卸資産が783百万円増加し、仕入債務が380百万円減少したことなどにより918百万円の支出(前年同四半期連結累計期間比358百万円の支出の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金への預入による2,400百万円の支出を主因として、2,789百万円の支出(前年同四半期連結累計期間比860百万円の支出の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払い449百万円を主因として、409百万円の支出(前年同四半期連結累計期間比5百万円の支出の増加)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年10月期の連結業績予想につきましては、平成25年12月12日に「平成25年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,171,846	5,601,520
受取手形及び売掛金	12,639,632	12,323,267
商品及び製品	3,231,590	3,490,056
仕掛品	888,624	1,280,593
原材料及び貯蔵品	988,780	1,186,632
繰延税金資産	405,172	351,058
その他	249,739	324,835
貸倒引当金	△7,053	△3,425
流動資産合計	25,568,332	24,554,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,434,925	2,533,560
減価償却累計額	△1,479,133	△1,495,475
建物及び構築物(純額)	955,791	1,038,085
機械装置及び運搬具	3,867,792	3,968,812
減価償却累計額	△3,136,674	△3,239,547
機械装置及び運搬具(純額)	731,117	729,265
土地	920,536	930,572
リース資産	9,867	—
減価償却累計額	△9,538	—
リース資産(純額)	328	—
建設仮勘定	2,583,008	2,679,558
その他	1,035,492	1,077,027
減価償却累計額	△959,869	△976,392
その他(純額)	75,623	100,634
有形固定資産合計	5,266,406	5,478,115
無形固定資産		
投資その他の資産	511,391	495,845
投資有価証券	1,126,177	1,177,020
差入保証金	251,735	249,794
繰延税金資産	23,456	22,947
その他	771,667	849,312
貸倒引当金	△41,232	△41,230
投資その他の資産合計	2,131,805	2,257,845
固定資産合計	7,909,602	8,231,806
資産合計	33,477,935	32,786,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,096,703	5,768,272
短期借入金	731,535	855,270
リース債務	775	102
未払金	614,544	538,566
未払法人税等	32,292	21,119
前受金	77,347	132,624
賞与引当金	751,650	376,586
役員賞与引当金	35,713	13,695
製品補償損失引当金	180,198	173,256
その他	278,980	287,110
流動負債合計	8,799,742	8,166,604
固定負債		
長期借入金	43,668	44,596
退職給付引当金	47,538	51,831
役員退職慰労引当金	18,680	18,680
繰延税金負債	992,832	1,019,285
固定負債合計	1,102,719	1,134,393
負債合計	9,902,461	9,300,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,061,210	1,061,210
資本剰余金	1,483,410	1,483,410
利益剰余金	20,838,441	20,652,964
自己株式	△363,462	△363,462
株主資本合計	23,019,599	22,834,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211,320	241,857
繰延ヘッジ損益	578	△196
為替換算調整勘定	121,844	255,759
その他の包括利益累計額合計	333,743	497,420
少数株主持分	222,130	153,805
純資産合計	23,575,473	23,485,347
負債純資産合計	33,477,935	32,786,345

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
売上高	8,498,147	9,106,222
売上原価	6,807,795	7,400,845
売上総利益	1,690,352	1,705,376
販売費及び一般管理費	1,582,806	1,585,893
営業利益	107,546	119,483
営業外収益		
受取利息	4,536	4,779
受取配当金	5,729	107,879
受取賃貸料	2,377	2,410
為替差益	44,714	45,273
その他	14,167	12,373
営業外収益合計	71,525	172,716
営業外費用		
支払利息	3,399	3,170
手形売却損	17	—
売上割引	3,258	1,391
その他	2,515	2,866
営業外費用合計	9,190	7,428
経常利益	169,881	284,770
特別利益		
負ののれん発生益	—	58,962
特別利益合計	—	58,962
税金等調整前四半期純利益	169,881	343,732
法人税、住民税及び事業税	12,645	15,551
法人税等調整額	95,655	65,487
法人税等合計	108,300	81,038
少数株主損益調整前四半期純利益	61,580	262,694
少数株主損失(△)	△24,193	△865
四半期純利益	85,773	263,560

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	61,580	262,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,919	30,537
繰延ヘッジ損益	△819	△775
為替換算調整勘定	211,657	148,834
その他の包括利益合計	285,757	178,595
四半期包括利益	347,337	441,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335,235	427,236
少数株主に係る四半期包括利益	12,102	14,052

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	169,881	343,732
減価償却費	92,651	86,305
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△681,034	△376,992
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△53,964	△22,017
製品補償損失引当金の増減額 (△は減少)	△62,907	△6,941
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,463	3,861
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,920	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,802	△3,629
受取利息及び受取配当金	△10,266	△112,659
支払利息	3,399	3,170
為替差損益 (△は益)	△38,065	△19,526
負ののれん発生益	—	△58,962
売上債権の増減額 (△は増加)	2,060,694	376,413
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△717,278	△783,937
仕入債務の増減額 (△は減少)	△754,973	△380,545
未払金の増減額 (△は減少)	△43,924	△13,681
前受金の増減額 (△は減少)	4,344	54,315
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26,325	△87,845
その他	32,865	62,250
小計	15,487	△936,688
利息及び配当金の受取額	10,043	115,276
利息の支払額	△4,075	△2,996
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△581,196	△93,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	△559,741	△918,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,700,000	△2,400,000
有形固定資産の取得による支出	△33,338	△264,733
無形固定資産の取得による支出	△102	△70,535
投資有価証券の取得による支出	△4,095	△4,242
貸付けによる支出	△2,040	△630
貸付金の回収による収入	1,573	745
差入保証金の増減額 (△は増加)	89,821	1,386
その他	△1,522	△51,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,649,702	△2,789,624

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	66,471
長期借入金の返済による支出	△2,130	△2,451
リース債務の返済による支出	△2,583	△673
少数株主からの株式取得による支出	—	△23,416
自己株式の取得による支出	△68	—
配当金の支払額	△399,146	△449,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	△403,928	△409,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	164,640	146,803
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,448,732	△3,970,325
現金及び現金同等物の期首残高	7,463,174	7,171,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,014,441	3,201,520

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年1月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	機械製造販売	化学工業製品販売	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,550,214	6,947,933	8,498,147	8,498,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,550,214	6,947,933	8,498,147	8,498,147
セグメント利益 又は損失(△)	△62,053	169,599	107,546	107,546

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年1月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	機械製造販売	化学工業製品販売	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,544,442	7,561,780	9,106,222	9,106,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,544,442	7,561,780	9,106,222	9,106,222
セグメント利益 又は損失(△)	△137,877	257,360	119,483	119,483

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社が第1四半期連結会計期間に、当社連結子会社である星際化工有限公司の他社が所有する株式を取得したことに伴い、化学工業製品販売事業において、負ののれんが発生しました。尚、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては58,962千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (補足情報) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年1月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	1,067,410	252,697	1,320,108
II 連結売上高 (千円)	—	—	8,498,147
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	12.6	3.0	15.5

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国または地域
 (1) アジア・・・中国・韓国・台湾・インドネシア
 (2) その他の地域・・・アメリカ・ヨーロッパ
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年1月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	1,461,944	207,955	1,669,900
II 連結売上高 (千円)	—	—	9,106,222
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	16.1	2.3	18.3

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国または地域
 (1) アジア・・・中国・韓国・台湾・インドネシア
 (2) その他の地域・・・アメリカ・ヨーロッパ
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。